



環境省
エコアクション21
認証番号 0006433

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

エコアクション21 環境経営レポート

2024年度版

《期間:2024年4月~2025年3月》

発行日：2025年10月1日

- ・ 環境経営方針
- ・ 事業活動の概要
- ・ 実施体制
- ・ 環境目標
- ・ 環境活動計画
- ・ 取組目標(次年度以降中期目標)
- ・ 環境活動実施状況
- ・ 環境活動取組み結果と評価
- ・ 環境負荷の実績
- ・ 環境関連法規への違反・訴訟の有無
- ・ 代表者による全体の評価及び見直し・指示



株式会社 京滋マツダ

環境経営方針

<基本理念>

株式会社 京滋マツダは、自動車販売・自動車整備などの全ての事業活動において自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

<行動指針>

1. 環境に関する法規制を遵守します。
2. 限りある資源を大切に、また、二酸化炭素排出量及び水使用量の削減のため省資源・省エネルギーに努めます。
3. 使用済み自動車の適正管理、リサイクルを推進します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
5. 使用する化学物質の適正管理を徹底します。
6. 環境に配慮した製品の提供を推進します。
7. 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
8. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。

平成 20 年 8 月 1 日	制定
令和 5 年 6 月 1 日	改定
令和 6 年 2 月 1 日	改定

株式会社 京滋マツダ
代表取締役

田嶋 誠治

■事業活動の概要



1. 事業所名及び代表者氏名

株式会社 京滋マツダ
代表取締役社長 田嶋 誠治

2. 所在地

京都市南区吉祥院向田西町1
Tel:075-314-3751

3. 事業内容

新車・中古車の販売
自動車整備業
損害保険代理業

4. 事業の規模

1) 店舗数22店舗(京都府下 12店舗、滋賀県下 9店舗)

総従業員数	406名 (2025年3月時点)
年間売上高	189億円 (2024年度)
年間新車中古車売上台数	8,085台 //
年間新車中古車店舗販売台数	5,498台 //
年間整備入庫台数	86,885台 //

2) 対象店舗(全店)

・かどの八条(本包含む)	・久世橋	・長岡京	・桂	・洛北
・山科	・伏見	・洛南	・田辺	・亀岡
・舞鶴	・大津	・堅田	・南草津	・栗東
・水口	・八幡	・彦根	・長浜	・守山

5. 環境管理責任者及び担当者

- ・ 環境管理責任者 執行役員 支援部長
樋爪 隆一
- ・ EA21推進事務局 支援部 人事総務Gr 長谷川 佳孝
Tel : 075-314-3751
Fax : 075-311-1052
e-meil : hasegawa.yo@mazda-dealer.jp

■事業活動の概要



6. 対象店舗の概要

※従業員数は2025年3月末時点、販売台数・在庫台数は2024年度実績

【かどの八条店及び本社】



京都市南区吉祥院向田西町1
従業員数：68名

- ・新車販売 306台
- ・中古車販売 80台
- ・整備入庫 6404台

本社機構

【久世橋店】



京都市南区吉祥院石原京道町7
従業員数：17名

- ・新車販売 39台
- ・中古車販売 372台
- ・整備入庫 3251台

【長岡京店】



京都府長岡京市開田二丁目10-12
従業員数：15名

- ・新車販売 226台
- ・中古車販売 23台
- ・整備入庫 4206台

【桂店】



京都市西京区山田車塚町4-1
従業員数：11名

- ・新車販売 148台
- ・中古車販売 20台
- ・整備入庫 2908台

【洛北店】



京都市左京区田中上大久保町3・4合地
従業員数：21名

- ・新車販売 233台
- ・中古車販売 51台
- ・整備入庫 5461台

【山科店】



京都市山科区東野片下り町30-
従業員数：10名

- ・新車販売 122台
- ・中古車販売 16台
- ・整備入庫 2786台

【伏見店】



京都市伏見区竹田中川原町71-3
従業員数：14名

- ・新車販売 178台
- ・中古車販売 15台
- ・整備入庫 3697台

【洛南店】



京都府宇治市小倉町神楽田48
従業員数：12名

- ・新車販売 154台
- ・中古車販売 8台
- ・整備入庫 3721台

【田辺店】



京都府京田辺市草内一ノ坪11-2
従業員数：10名

- ・新車販売 122台
- ・中古車販売 17台
- ・整備入庫 2917台

【亀岡店】



京都府亀岡市西つづじヶ丘五月台1-15-1
従業員数：13名

- ・新車販売 142台
- ・中古車販売 68台
- ・整備入庫 3537台

【福知山店】



京都府福知山市字篠尾小字長ヶ坪115-17
従業員数：11名

- ・新車販売 147台
- ・中古車販売 47台
- ・整備入庫 3482台

【舞鶴店】



京都府舞鶴市公文名小字宮ノ下5-1
従業員数：11名

- ・新車販売 153台
- ・中古車販売 47台
- ・整備入庫 2779台

■事業活動の概要



【大津店・滋賀事務センター・レンタカーGr.】



滋賀県大津市竜が丘1-18
従業員数：60名

- ・新車販売 658台
- ・中古車販売 64台
- ・整備入庫 6097台
- ・滋賀登録機構 ・中古車販物流機構
- ・法人Gr ・レンタカーGr

【堅田店】



滋賀県大津市本堅田4丁目13-9
従業員数：12名

- ・新車販売 144台
- ・中古車販売 17台
- ・整備入庫 3281台

【南草津店】



滋賀県草津市野路町688-2
従業員数：17名

- ・新車販売 194台
- ・中古車販売 24台
- ・整備入庫 4313台

【栗東店】



滋賀県栗東市上鉤314
従業員数：19名

- ・新車販売 175台
- ・中古車販売 55台
- ・整備入庫 4909台

【守山店】



滋賀県守山市播磨田町86-1
従業員数：21名

- ・新車販売 252台
- ・中古車販売 196台
- ・整備入庫 5012台

【水口店】



滋賀県甲賀市水口町北脇442-1
従業員数：14名

- ・新車販売 153台
- ・中古車販売 60台
- ・整備入庫 4008台

【八幡店】



滋賀県近江八幡市出町233
従業員数：15名

- ・新車販売 167台
- ・中古車販売 25台
- ・整備入庫 4190台

【彦根店】



滋賀県彦根市西沼波町185-1
滋賀県彦根市西沼波町261-1(ユーカーランド)
従業員数：21名

- ・新車販売 204台
- ・中古車販売 116台
- ・整備入庫 4651台

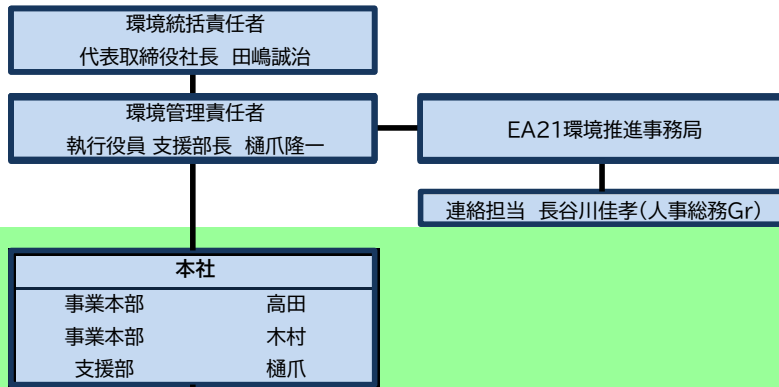
【長浜店】



滋賀県長浜市八幡中山町67
従業員数：14名

- ・新車販売 154台
- ・中古車販売 68台
- ・整備入庫 3824台

■実施体制



★全店取組対象

かどの八条店		久世橋店		大津店		堅田店	
店長 伊藤	サービスMgr 大林	店長 中山	サービスMgr 石角	店長 井上	サービスMgr 岡本	店長 大友	サービスMgr 勝田
長岡京店		桂店		南草津店		栗東店	
店長 中川	サービスMgr 櫻井	店長 勝山	サービスMgr 向井	店長 平田	サービスMgr 鮫島	店長 西川	サービスMgr 田中
洛北店		山科店		守山店		水口店	
店長 和所	サービスMgr 能勢	店長 星本	サービスMgr 森井	店長 長野	サービスMgr 小林	店長 西沢	サービスMgr 井場
伏見店		洛南店		八幡店		彦根店	
店長 中小路	サービスMgr 大林	店長 奥西	サービスMgr 山脇	店長 遠藤	サービスMgr 青西	店長 野村	サービスMgr 内池
田辺店		亀岡店		長浜店			
店長 山下	サービスMgr 杉村	店長 渡辺	サービスMgr 小林	店長 奥田	サービスMgr 木戸		
福知山店		舞鶴店					
店長 加藤	サービスMgr 高橋	店長 柴原	サービスMgr 大道				

2025年9月時点

環境統括責任者 <代表者・社長>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 <役員・管理/サービス部門長>	<ul style="list-style-type: none"> ・実務上の責任者として、環境取組を推進 ※代表者は、環境活動の実施に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・内部監査結果の確認 ・環境活動レポートの確認
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取組を推進 ・店舗の環境取組の指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ ・内部監査の実施 ・全社環境委員会の事務局
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取組を推進 ・担当部門の環境取組の責任者
店舗環境管理責任者 <正:店長、副:サービスMgr>	<ul style="list-style-type: none"> ・店長:店舗の環境取組全体の責任者として、店舗環境取組の推進・管理を行う ・サービスMgr:MECA21を中心にサービス領域の環境取組に責任を持つとともに、店舗全体の環境取組において店長をサポートする
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画に沿って、環境取組活動を実施する

■環境目標



株式会社 京滋マツダは

環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。

環境方針	取組項目	単位	基準年度	中長期目標					
			2021年度	2022年度		2023年度		2024年度	
				対象:全店舗		対象:全店舗		対象:全店舗	
			基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	
省資源・省エネルギー	電力消費量の削減	kWh	1,957,128	1 %削減	1,937,557	2 %削減	1,917,985	3 %削減	1,898,414
	燃料消費量の削減 (ガソリン・軽油)	L	127,847	1 %削減	126,569	2 %削減	125,290	3 %削減	124,012
	都市ガス消費量の削減	m ³	9,977	1 %削減	9,877	2 %削減	9,777	3 %削減	9,678
	LPガス消費量の削減	kg	685	1 %削減	678	2 %削減	671	3 %削減	664
	事業所利用水の節水	L	17,359	1 %削減	17,185	2 %削減	17,012	3 %削減	16,838
循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再利用・再活用活動を推進します。	廃棄物排出量の削減	kg	715,929	1 %削減	708,770	2 %削減	701,611	3 %削減	694,452
製品の提供	環境に配慮した製品の提供を推進します。	エコカー (SKYACTIV搭載車)販売の拡大	台	75.1%	75 %以上	76 %以上	77 %以上		
		メンテナンスパック 在庫台数の拡大	台	37,731	1 %向上	38,108	2 %向上	38,486	3 %向上

- ★ 当社の事業年度は、4月～3月迄の1年間です。
- ★ 2021年度を基準年度として、『省資源・省エネルギー』については毎年1%の削減、『環境製品の提供』についてはそれぞれ1%拡大目標を設定します。
- ★ 電気使用に伴う二酸化炭素排出係数は、2021年度 F_レットコミュニケーション (0.477kg-CO₂/kWh) で算定しています。
- ★ 使用済み自動車の適正管理、リサイクル推進は目標を設定せず、日常業務として取組を継続します。
- ★ 現在、PRTR制度の対象となる化学物質の使用はありませんが、今後使用が発生した場合は適正管理に努めます。
- ★ 燃料消費量削減目標については、車両販売台数に影響を受ける納車時燃料使用量は除外する。



■環境活動計画

《2024年度 活動計画》 ●:実施予定月

		活動内容												
活動計画	CO ₂ 排出量削減	エネルギー使用量の把握												
	電気消費量削減	不要な照明の消灯・節電の徹底												
		冷暖房の温度設定管理												
		エアコンフィルターの清掃												
	燃料使用量削減	待機電源オフの実施												
		エコドライブの実践												
	廃棄物排出量削減	社用車燃費向上の実施												
		廃棄物排出量の把握												
		ゴミの分別徹底、リサイクルの促進												
		裏紙利用、両面コピー、縮小コピーの促進												
水使用量削減	カラープリント、コピーの原則禁止													
	カタログの適正発注と管理の徹底													
有害化学物質適正管理	漏水の定期確認													
	水使用量の適正管理(無駄の排除)													
環境に配慮した製品の提供	化学物質の管理													
	エコカー(SKYACTIV搭載車)の販売拡大													
環境教育・訓練	バックdeメンテの販売促進・入庫による整備コンディションUPで環境に配慮													
	教育・訓練の計画&実施													
各種記録	環境記録の作成、管理													
		活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育・訓練	環境知識の向上	環境マイスター認定研修等の受講												●
	緊急事態の対応訓練	火災消防訓練							●					
		オイル流出時の対応訓練		●										



SDGs行動宣言

株式会社 京滋マツダ

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
責任ある企業行動	12 持続可能な消費と生産 9 産業と革新の基盤をつくろう 17 パートナーシップによる目標の実現	CO2排出削減に向け、下記を取り組んでいます。 1. 環境性能に優れた車両提案 2. エコアクション 3. 食品ロス対策
働きがいのある仕事	8 豊かで持続可能な成長を促進しよう 10 人や国の格差をなくそう 4 質の高い雇用を創出しよう	すべての労働者の権利を守り、安全・安心な労働環境を促進しています。 1. 健康経営取組 2. 次世代育成支援対策及び女性活躍推進
地域への貢献	11 持続可能な都市とコミュニティを創出しよう 8 豊かで持続可能な成長を促進しよう 4 質の高い雇用を創出しよう	事業活動を通じた知見を地域に役立てています。 1. CSR活動 2. 災害時応援協定 3. 就業体験機会の提供

世界の自動車産業を取り巻く環境の大きな変化を踏まえ、より長期的な視野に立ち、クルマの魅力である「走る歓び」によって、「地球」「人」「社会」それぞれの課題解決を目指していきます



■環境目標（次年度以降 中期目標）



株式会社 京滋マツダは

環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。

環境方針	取組項目	単位	基準年度	中長期目標						
			2024年度	2025年度		2026年度		2027年度		
				基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	基準年度比	目標値	
省資源・省エネルギー	限りある資源を大切にし、また、二酸化炭素排出量及び水使用量の削減のため省資源・省エネルギーに努めます。	電力消費量の削減	kWh	1,873,301	1 %削減	1,854,568	2 %削減	1,835,835	3 %削減	1,817,102
		燃料消費量の削減 (ガソリン・軽油)	L	108,024	1 %削減	106,944	2 %削減	105,864	3 %削減	104,783
		都市ガス消費量の削減	m ³	8,212	1 %削減	8,130	2 %削減	8,048	3 %削減	7,966
		LPガス消費量の削減	kg	352	1 %削減	348	2 %削減	345	3 %削減	341
		事業所利用水の節水	L	13,418	1 %削減	13,284	2 %削減	13,150	3 %削減	13,015
製品の提供	環境に配慮した製品の提供を推進します。	エコカー(SKYACTIV搭載車)販売の拡大	台	69.7%	75 %以上	76 %以上	77 %以上			
		メンテナンスパックの在庫率拡大	%	88.9%	89.3 %以上	89.7 %以上	90 %以上			

- ★ 当社の事業年度は、4月～3月迄の1年間です。
- ★ 2024年度を基準年度として、『省資源・省エネルギー』については毎年1%の削減、『環境製品の提供』についてはそれぞれ拡大目標を設定します。
- ★ 電気使用に伴う二酸化炭素排出係数は、2023年度 日本テクノ(0.517kg-CO₂/kWh) で算定しています。
- ★ 使用済み自動車の適正管理、リサイクル推進は目標を設定せず、日常業務として取組を継続します。
- ★ 現在、PRTR制度の対象となる化学物質の使用はありませんが、今後使用が発生した場合は適正管理に努めます。
- ★ 燃料消費量削減目標については、車両販売台数に影響を受ける納車時燃料使用量は除外する。

■環境活動 実施状況



CO₂

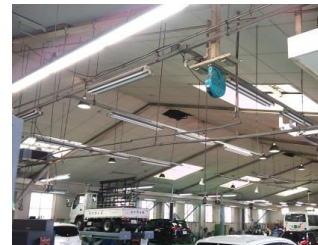
CO₂排出量削減

- ・毎月の電気使用量、化石燃料使用量、CO₂排出量を環境目標進捗表から確認し把握する事で、CO₂排出量削減の意識を高めています。



電気消費量削減

- ・日中は間引き消灯を実施。昼休み・休憩時は事務所・工場の消灯を実施(原則12時から13時は消灯)照明スイッチに点灯箇所を表示して、昼間点灯・夜間点灯を明確にする。
- ・使用時以外のトイレ・会議室・給湯室・更衣室・部品庫等の消灯確認。
- ・メジャーサイン・看板照明等を19時に消灯し、点灯時間も毎月見直す。
- ・自動販売機の夜間照明を消す。
- ・毎月 環境配慮DAYを設定し、定時消灯・退社を実施



- ・クールビズ・ウォームビズにより事務所空調を冷房28℃、暖房20℃に温度設定。
- ・お客様スペースは過剰な冷暖房にならないように温度管理を行う。
- ・エアコンフィルター清掃日を決めて、月1回以上清掃を実施する。
- ・部門長・店長は待機電源オフ責任者となり、退社時に必ず確認を行う。



■環境活動 実施状況



燃料使用量削減

- ・エコドライブ10のすすめを実践し、習慣化する。
- ・社用車の空気圧、不要に荷物が積まれていないかのチェック管理を行う。



廃棄物排出量の削減

- ・紙使用量削減のために、両面コピー・縮小コピー・裏紙利用の徹底(裏紙BOXなどの設置) コピー使用後の「設定リセット」意識付けによるミスコピーの防止。
- ・分別を徹底し、計量と記録で削減意識の向上を図る。
- ・エコキャップなどリサイクル化運動の実施。
- ・整備用シートカバーや紙マットを、繰り返し使用可能な布製・ビニール製のものに切り替え。



水使用量の削減

- ・洗車用ホースにはストップノズルを付け、無駄な使用を削減する。
- ・節水の掲示を各蛇口付近に貼り、意識の向上を図る。



環境に配慮した製品・サービスの提供

- ・メンテナンスパック(パックDEメンテ)の販売、および入庫促進により お客様車両の整備コンディションを向上。
- ・環境対応車両(SKYACTIV搭載車)の販売促進、代替による低燃費車比率の拡大。

■環境活動 実施状況



化学物質の適正管理

・使用する化学物質について適正な管理を行う。



環境設備

【太陽光発電】 ≪本社・かどの八条店≫

屋上に太陽光発電パネルを設置、最大で月間 2723kWhの電力量を出力しています。
また、ショールームに環境モニターを設置。お客様にも発電状況を見ていただくと共に、環境取組みのご理解・ご協力をいただけるようにしています。(出力 本社:25kw、かどの八条店:25.4kw)

【LED照明】 ≪本社・一部店舗≫

照明に、電力消費量の少ないLED電球を使用。その明るさを活かして間引き消灯を徹底しています。

【センサー式 照明・蛇口】 ≪本社・一部店舗≫

トイレの照明・蛇口にセンサー式スイッチを採用。照明の消し忘れや水の止め忘れを防ぎ、無駄な電気や水の使用を無くしています。



太陽光発電パネル



LED照明



センサー式照明スイッチ



教育・訓練・環境イベント参加

・【2025/2/7】 京都府エコカーマイスター講習会 受講(3名)



■環境活動取組み結果と評価

1. 2024年4月～2025年3月運用期間の実績

環境方針	取組項目	単位	基準年度	2024年度目標		2024年度実績		評価	次年度の取組内容
			2021年度			達成状況			
省資源・省エネルギー	電力消費量の削減	kWh	1,957,128	3 %削減	1,898,414	1,873,301	達成	電力消費量削減取組みにより、電力消費量削減目標を達成	電力消費量削減取組みを継続
	燃料消費量の削減 (ガソリン・軽油)	L	127,847	3 %削減	124,012	108,024	達成	燃料消費量削減取組みにより、燃料消費量削減目標を達成。	燃料消費量削減取組みを継続
	都市ガス消費量の削減	m ³	9,977	3 %削減	9,678	8,212	達成	ガス消費量削減取組みにより、ガス消費量削減目標を達成。	ガス消費量削減取組みを継続
	LPガス消費量の削減	kg	685	3 %削減	664	352	達成		
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,266,585		1,227,177	1,171,911	達成	電力消費量、燃料消費量の削減目標達成により、二酸化炭素排出量削減目標を達成。	省資源・省エネルギーの取組みを継続し、二酸化炭素排出量を削減する。
	事業所利用水の節水	m ³	17,359	3 %削減	16,838	13,418	達成	水使用量削減取組みにより、水消費量削減目標を達成。	水使用量削減取組みを継続
循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再利用・再活用活動を推進します。	廃棄物排出量の削減	kg	715,929	3 %削減	694,452	667,771	達成	廃棄物排出量削減目標を達成。整備入庫台数が減少した事も影響している。	廃棄物排出量削減取組みを継続
製品の提供	エコカー (SKYACTIV搭載車)販売の拡大	%	73.9%		77% 以上	69.7%	未達		SKYACTIV搭載車に限らず、環境性能に優れた軽自動車も含めた目標を設定する。
	メンテナンスパック入庫台数の拡大	台	37,731	3 %向上	38,863	33,968	未達	メンテナンスパックの対象台数が減少した事が入庫台数未達の要因の一つと考えられる。	母数となるメンテナンスパックの対象台数に変動性がある為、入庫率での目標を設定するなど見直しを行う。

★ 電気使用に伴う二酸化炭素排出係数は、2021年度 FLEETコミニケーション (0.477kg-CO₂/kWh) で算定しています。

★ 燃料消費量削減目標については、車両販売台数に影響を受ける納車時燃料使用量は除外する。

■環境負荷の実績



□環境への負荷の状況（取りまとめ表）			(自動計算)		
環境への負荷		単位	2022年	2023年	2024年
アウト プット	① 温室効果ガス排出量	合計	1,354,363	1,191,958	1,171,828
	二酸化炭素排出量	合計	Kg-CO ₂ 1,354,363	Kg-CO ₂ 1,191,958	Kg-CO ₂ 1,171,828
	電力		Kg-CO ₂ 890,002	Kg-CO ₂ 867,950	Kg-CO ₂ 893,565
	化石燃料	小計	Kg-CO ₂ 464,361	Kg-CO ₂ 324,008	Kg-CO ₂ 278,264
	灯油		Kg-CO ₂ 1,657	Kg-CO ₂ 769	
	A重油		Kg-CO ₂		
	都市ガス		Kg-CO ₂ 16,897	Kg-CO ₂ 14,820	Kg-CO ₂ 17,078
	液化天然ガス(LNG)		Kg-CO ₂		
	液化石油ガス(LPG)		Kg-CO ₂ 2,099	Kg-CO ₂ 1,542	Kg-CO ₂ 1,058
	ガソリン		Kg-CO ₂ 289,932	Kg-CO ₂ 207,732	Kg-CO ₂ 179,200
	軽油		Kg-CO ₂ 153,776	Kg-CO ₂ 99,144	Kg-CO ₂ 80,928
			Kg-CO ₂		
			Kg-CO ₂		
			Kg-CO ₂		
	イン プット	② 廃棄物等総排出量及び 廃棄物最終処分量		658.09	632.51
一般廃棄物		小計	t 3.83	t 3.25	t 2.14
循環資源量			t 2.46	t 1.86	t 1.20
中間処理			t		
最終処分（焼却・埋立）量			t 1.37	t 1.39	t 0.94
産業廃棄物		小計	t 654.26	t 629.27	t 665.63
循環資源量			t 250.87	t 251.73	t 517.04
中間処理			t 389.09	t 364.10	t 136.87
最終処分（焼却・埋立）量			t 14.30	t 13.44	t 11.73
③ 総排水量及び水使用量					
# 総排水量					
公共用水域			m ³		
下水道			m ³ 14,684	m ³ 13,905	m ³ 13,418
# 水使用量					
上水			m ³ 14,684	m ³ 13,905	m ³ 13,418
工業用水		m ³			
地下水					
④ 化学物質使用量		kg			
		kg			
		kg			
⑤ エネルギー使用量	合計	MJ 25,567,004	MJ 23,022,098	MJ 22,618,377	
購入電力（新エネルギーを除く）		MJ 18,614,304	MJ 18,153,090	MJ 18,414,549	
化石燃料		MJ 6,952,700	MJ 4,869,008	MJ 4,203,828	
新エネルギー		MJ			
その他		MJ			
⑥ 物質使用量					
資源使用量		t			
循環資源使用量		t			

★ 電気使用に伴う二酸化炭素排出係数は、2021年度 F₂ットコミュニケーションズ（0.477kg-CO₂/kWh）で算定しています。

★ 燃料消費量削減目標については、車両販売台数に影響を受ける納車時燃料使用量は除外する。

■環境関連法規への違反・訴訟の有無



1. 環境関連法規

環境関連法令	法令要求事項	適用される施設項目	適否 (2022年10月時点)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の排出適正処理	廃棄物置場 産廃管理票	適
水質汚濁防止法	特定施設の届出、水質検査・行政への報告	自動洗車機	適
下水道法	特定施設の届出	自動洗車機	適
浄化槽法	設置または変更時の届出 定期点検・清掃、水質検査	浄化槽	適
消防法	消防用設備の設置、危険物取扱	消火器 第4類危険物貯蔵量	適
騒音規制法	規制基準の遵守と届出	空気圧縮機	適
振動規制法	規制基準の遵守と届出	空気圧縮機	適
使用済み自動車の再資源化に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車廃棄時の使用済み自動車の適正処理 フロン類回収業者の登録と更新(5年ごと)	使用済み自動車	適
フロン排出抑制法	自動車整備時における適正管理、第1種特定製品の点検実施	業務用エアコン 空気圧縮機	適
循環型社会形成推進基本法	循環資源の適正な循環的利用	廃PPバンパー	適

・環境関連法規については、「環境法令遵守チェック表」により法令遵守状況を確認しています。

2. 違反・訴訟の有無

- ・当社は、環境関連法規の違反や訴訟は発生しておりません。
- ・また、環境当局からの違反等の指摘は、過去3年間1件もありません。

代表者による全体の評価及び見直し・指示

⑬-01

会社名	(株)京滋マツダ
活動期間	2024年4月～2025年3月

作成者	長谷川 佳孝
-----	--------

見直し 関連 情報	項目	確認	評価・コメント
	1 エコアクション21文書	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	2 環境目標及び目標達成状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	エコカー販売の拡大目標では、SKYACTIVT搭載車に限定せず、環境性能に優れた軽自動車も含めて目標設定を行う。メンテナンスバック在庫台数拡大では母数となる対象台数の変動に影響されないよう、在庫率での目標設定を検討する。
	3 環境活動計画及び取組実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	4 環境関連法令一覧表及び遵守状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	5 外部コミュニケーション・対応記録	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	6 問題点の是正・予防措置の実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし
	7 取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 未実施	特になし

評価者	田嶋 誠治	実施日	2025年9月14日
-----	-------	-----	------------

全体評価・コメント（環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等）

2024年度は、省資源・省エネルギーの取組において計画どおりの成果を上げ、目標を達成することができた。これは、全社員が日常業務の中で環境意識を持ち続け、地道な改善活動を積み重ねてきた結果である。今後も、店舗改装時のLED化推進やこまめな消灯、エコドライブなど、現場からの自発的な取組を継続し、更なる効率化と環境負荷低減を図っていく。

一方で、エコカー販売の拡大については、2024年度上期のメーカー認証問題による車両供給制限の影響を受け、計画に達しなかった。2025年度は、この課題を踏まえ、エコカー販売およびメンテナンスバック在庫台数拡大の目標値をより実現性の高いものに見直し、確実な達成に向けて全社一丸となって取り組んでいく。

代表者 による 全体 評価 ・ 見 直 し	見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1 環境方針	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	2 環境目標	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	エコカー販売の拡大目標では、環境性能に優れた軽自動車も対象に含める。メンテナンスバック在庫拡大目標では対象月在庫率での目標設定へ変更。
	3 環境活動計画・取組項目	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	上記環境目標の変更に沿って、環境活動計画・取組項目を見直す。
	4 環境に関する組織	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	5 その他のシステム要素	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	6 その他（外部への対応）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	